

矢板市男女共同参画広報紙

第23号 2022.3

ラポール

～ラポール：心が通じ合う、信頼関係～

男女共同参画社会基本法
—5つの理念—

1. 男女の人権の尊重
2. 社会における制度又は慣行などへの配慮
3. 政策等の立案及び決定の場への共同参画
4. 家庭生活における活動と他の活動の両立
5. 国際的協調

(平成11年6月公布、施行)

◆男女共同参画週間のキャッチフレーズ(令和3年度)

『女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。』

昨年、令和3年に成人を迎えた皆さんは、コロナ禍により成人式が中止となり、20歳での意見を発表する機会が無くなってしまいました。そこで、現在21歳の令和3年成人式実行委員の皆さんに男女共同参画に関する意見を聞かせてもらうためアンケートを行い、次のようなご意見をいただきました。

今年度のキャッチフレーズの中にもある「女だから、男だから」ではないと、21歳の今、しっかり考えることが頼もしいですね。

Q 男女共同参画とはどういうものだと思いますか？

- A ・男女に区別されず、一人の人間として平等に権利や機会を受けられること。
- A ・男女が性別にとらわれず、社会の一員としてさまざまな活動に参加できるというもの。

Q 日本のジェンダーギャップ指数は120位で先進国では最下位ですが、どの様に思いますか？

- A ・女性の政治家や管理職が少なく、賃金格差もあることから、驚きはあまりない。実際に国を動かす政治家に女性が少ないと、女性のニーズにあった政策が作られないと思うので、能力が高い女性政治家を育てる環境作りが必要だと思う。
- A ・男性が社会に出て、女性は家で家事をするなどの男性が社会を動かしているみたいな考え方がいまだに根強く残っており、女性が社会進出をしづらい環境があるのだと感じられる。今の時代に合わせて変えていかなければいけないと思う。

Q 今後どの様な方向に向かえばよいと思いますか？

- A ・男女平等にということで単純に男女の数を揃えていくのではなく、男性の中、女性の中でも好きな分野や得意な分野が異なると思われるので、個々に合った分野に挑戦できる機会を増やす取り組みを行うことが大切になると思います。そのために、日本としては、若い頃から好きな分野、得意な分野にチャレンジする精神を尊重し、男だからとか女だからといって諦めてしまうような環境を変えていけたらと思う。

～認めあい 分かちあい 補いあう 男女共同参画社会をめざして～

“グループあい”は、男女共同参画社会推進のために
さまざまな啓発活動を行う団体です

興味や関心がある方は、ぜひ一緒に活動をしてみませんか。お待ちしております。

発行 / 矢板市男女共同参画啓発活動団体 “グループあい” 広報部
事務局 / 矢板市生涯学習課 ☎ (43) 6218



グループあい 活動報告

No.16
2022.3



【男女共同参画啓発動画作成】

男女共同参画啓発活動団体“グループあい”は、コロナの影響で活動ストップ状態です。

その様な中でも、何か伝える方法は無いかと事務局と企画部を中心に検討し、啓発動画を作成することになりました。

まずは、たたき台の原稿を作成し検討を重ね、その後、編集作業を経て、2月に完成しました。



動画はこちら

グループあいの主な活動紹介

- ①「やいたみんなのつどい」の時に、クイズで啓発活動
 - ②小学校入学前の健診時に寸劇(ペープサート)を行い保護者に対しての啓発活動
 - ③学校行事(PTAなど)の際にお子さんを預かる、保護者の参加支援活動
- この様な活動を行っている団体です。これでコロナに勝利できますかね？ (K. Y記)



【Zoom講習会】

私たちグループあいのメンバーは、ポジティブ志向の年齢若干高め(?)な15人衆です。事務局とメンバーは、今までと同じでは何もできないという事をコロナ禍で痛感しましたので、世の中の動きに対応すべく、「Zoom」というオンラインでの会議やミーティングを可能にするツールを活用することにしました。

まず、ツール(Zoom)を活用するにあたり、メンバーが端末を操作してZoom会議に参加できるよう、事務局が講師となり講習会を行いました。

この頃よく見聞きするIT用語ですが、Zoom、オンライン、Wi-Fi、ツールなど単語の意味を確認して、実際にスマホやタブレットを操作しました。操作マニュアルを見ながら悪戦苦闘しましたが、参加者全員が各自の端末からZoom会議に入り、会話ができた時には達成感がありました。今後は、会議の開催は対面とオンラインの併用を目指していきます。

ぜひ、皆さんもZoomに限らず新しいことにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。 (K記)

【編集後記】

新型コロナウイルス騒動が始まって2年が過ぎた。そんな中、昨年(2021年)は延期されたオリンピックが無事開催され、心配されたコロナの拡散も無く終了した。マスク着用・ステイホームなどの3密対策が定着し、仕事はテレワークの在宅勤務、学校や会議はオンラインで人びとの移動と交流の減少が功を奏したのか、感染者が減少し収束が期待されたが、年末近くには感染者数が徐々に増加してきたのが不気味で、更に感染力の強いオミクロン変異株の感染が拡大傾向にあり警戒を強めている。

オンラインやテレワークが継続しているのも、IT(コンピュータとネットワークを利用した技術の総称と言われていた)が定着し、小中学校に1人1台のタブレット端末が行き渡っている時に、わが「グループあい」もIT時代に乗り遅れないようにと動き出した。今までは、小学校入学児童の健診時を利用し、待機保護者に寸劇(ペープサート)による啓発活動をしていたが、期日に制約なく何時でも閲覧出来るようにと動画化に取り組んでいる。その内容も男女共同参画で度々目にする語句の一つである「ワーク・ライフ・バランス」を取り上げ、理解浸透の成果を目標に、制作に頑張っている。

今、世の中で言われているのが「SDGs」なる言葉。これは持続可能な開発目標を国際社会共通として、17項目が挙げられている。我々「グループあい」の動画作成も、男女共同参画の定着に向けた啓発活動の一つで、コロナ禍の活動制約の中で、独自の活動目標を策定し、SDGsのように持続可能な活動が望まれているのかも…コロナに負けず、頑張ろう。 ※2022.1.5時点の編集後記です。(K. S記)

【発行】矢板市男女共同参画啓発活動団体 “グループあい” 広報部